

# 無垢羽目板の施工方法

## 下地

人工乾燥を施した「胴縁」に9mm以上の耐水合板を捨て貼りし、その上から接着剤と釘を併用して施工して下さい。

## 接着剤

① ウレタン系接着剤かエポキシ系接着剤をご使用下さい。

※水性エマルジョン系接着剤・木工用白ボンドはご使用にならないで下さい。

(接着剤に含まれる水分が蒸発して硬化するタイプで、水分を羽目板が吸収するため「暴れ」の原因となります。)

② さねに接着剤を塗らないでください

③ 木工用白ボンド・酢ビ系ボンドは使用しないで下さい。割れ・隙きの原因になります。

## クリアランス

① 湿度の高い環境のところでは、羽目板は強く叩き込まず、若干のクリアランスを設けて下さい。

高温多湿の環境下では「突き上げ」を起こす可能性があります。

② 寒冷地では暖房の為に冬場に羽目板が痩せる場合があります。施工する地域の環境を十分に考慮して施工してください。貼り始め・貼り終わり部分は最低5mmほどの隙間を設け、幅木・廻り縁・出隅・入隅で隠して下さい。

## 注意事項

① 広葉樹系の羽目板は、針葉樹系の羽目板と比べ、施工後の伸縮・反り・ねじれが起こりやすい性質があります。それらのリスクを軽減するために、下地の捨て貼りには耐火ボードではなく合板を使用し、釘はフィニッシュネイルではなくスクルー釘のご使用をお勧めします。

② 内装用羽目板の浴室でのご使用は避けて下さい。